

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和2年4月～6月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	15.3	13.6	71.2	△ 55.9	21.7	10.0	68.3	△ 46.7	35.6	27.1	37.3	△ 1.7
2 採 算	16.9	16.9	66.1	△ 49.2	13.6	20.3	66.1	△ 52.5	22.8	49.1	28.1	△ 5.3
3 仕 入 単 価	25.4	67.8	6.8	18.6	15.0	76.7	8.3	6.7	22.0	78.0	0.0	22.0
4 従 業 員 数					5.1	83.1	11.9	△ 6.8	6.9	82.8	10.3	△ 3.4
5 資 金 繰 り					10.2	52.5	37.3	△ 27.1	24.1	56.9	19.0	5.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		13.6	22.0	64.4		-50.8		18.6	39.0		42.4	-23.7		5.1

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	75.0	3.3	1.7	80.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	3.3	8.3	11.7	23.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	1.7	3.3	5.0	10.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	1.7	3.3	5.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	1.7	5.0	1.7	8.3	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	3.3	5.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	1.7	5.0	10.0	16.7	11 需 要 の 停 滞	1.7	33.3	10.0	45.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	1.7	3.3	5.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	6.7	6.7	6.7	20.0	13 そ の 他	3.3	3.3	5.0	11.7
7 人 件 費 の 増 加	3.3	5.0	5.0	13.3	無 回 答	1.7	20.0	31.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

## 《 製 造 業 》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	44.4	0.0	55.6	△ 11.1	22.2	11.1	66.7	△ 44.4	33.3	22.2	44.4	△ 11.1
2 採 算	44.4	0.0	55.6	△ 11.1	22.2	11.1	66.7	△ 44.4	11.1	33.3	55.6	△ 44.4
3 仕 入 単 価	11.1	88.9	0.0	11.1	11.1	88.9	0.0	11.1	22.2	77.8	0.0	22.2
4 従 業 員 数	/	/	/	/	11.1	77.8	11.1	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	11.1	33.3	55.6	△ 44.4	0.0	44.4	55.6	△ 55.6

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.2	22.2	55.6		△ 33.3		33.3	22.2		44.4	△ 11.1		11.1

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	55.6	22.2	11.1	88.9	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.1	11.1	11.1	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	11.1	0.0	11.1
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	11.1	11.1	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	0.0	11.1	11.1	11 需 要 の 停 滞	0.0	44.4	22.2	66.7
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	11.1	0.0	0.0	11.1	13 そ の 他	11.1	0.0	11.1	22.2
7 人 件 費 の 増 加	11.1	0.0	11.1	22.2	無 回 答	0.0	11.1	11.1	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 各種イベント、大会等の中止により、付随する印刷物の需要がないことによる売上の減少。
- ・ コロナにより受注減少。県外の営業が出来ない状況。
- ・ 今後もイベントの中止が続いた場合のダメージは大きい。それを想定し、どう補っていくかが課題。

## 《建設業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	0.0	42.9	57.1	△ 57.1	28.6	0.0	71.4	△ 42.9	57.1	28.6	14.3	42.9
2 採算	14.3	42.9	42.9	△ 28.6	16.7	33.3	50.0	△ 33.3	16.7	83.3	0.0	16.7
3 仕入単価	28.6	71.4	0.0	28.6	14.3	85.7	0.0	14.3	14.3	85.7	0.0	14.3
4 従業員数					14.3	85.7	0.0	14.3	0.0	85.7	14.3	△ 14.3
5 資金繰り					28.6	42.9	28.6	0.0	57.1	42.9	0.0	57.1

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	33.3	66.7		△ 66.7		33.3	33.3		33.3	0.0		16.7

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	57.1	0.0	0.0	57.1	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	14.3	0.0	14.3
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	28.6	28.6
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需要の停滞	14.3	28.6	0.0	42.9
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	28.6	28.6	14.3	71.4	13 その他	0.0	14.3	0.0	14.3
7 人件費の増加	0.0	14.3	14.3	28.6	無回答	0.0	0.0	42.9	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 新型コロナウイルスの影響により、受注の減少や着工の先送りなどが始まった。
- ・ 6～7月はコロナ第1波が落ち着き、見積み依頼の件が多かったが、第2波が広がってきている事によるお客様の心理的な事情でリフォームを先延ばしにされる可能性がある。
- ・ 外注先の高齢化。給付金の影響で修理等の需要が増えた。

## 《卸 ・ 小 売 業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	22.2	11.1	66.7	△ 44.4	26.3	15.8	57.9	△ 31.6	36.8	10.5	52.6	△ 15.8
2 採 算	27.8	22.2	50.0	△ 22.2	15.8	26.3	57.9	△ 42.1	26.3	42.1	31.6	△ 5.3
3 仕 入 単 価	33.3	61.1	5.6	27.8	15.8	68.4	15.8	0.0	31.6	68.4	0.0	31.6
4 従 業 員 数					5.3	89.5	5.3	0.0	5.3	84.2	10.5	△ 5.3
5 資 金 繰 り					10.5	68.4	21.1	△ 10.5	26.3	63.2	10.5	15.8

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		21.1	26.3	52.6		-31.6		21.1	63.2		15.8	5.3		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	84.2	0.0	0.0	84.2	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	5.3	15.8	21.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	15.8	15.8	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	5.3	0.0	0.0	5.3	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	0.0	5.3	5.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	10.5	5.3	15.8	11 需 要 の 停 滞	0.0	31.6	5.3	36.8
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	5.3	5.3	10.5	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	5.3	5.3	5.3	15.8	13 そ の 他	5.3	5.3	5.3	15.8
7 人 件 費 の 増 加	0.0	10.5	5.3	15.8	無 回 答	0.0	26.3	31.6	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 施主様や工務店等が資材をネット商社から仕入れてくるケースが増加した
- ・ 今年はどこの店 (アパレル) も在庫過多でSaleを極端に早めている傾向。
- ・ 全体的に、家電販売店の多くが10万円給付金の恩恵を受け、売上は伸びている様子だが、夏以降の売上が心配。

## 《サービス業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	7.7	23.1	69.2	△ 61.5	30.8	15.4	53.8	△ 23.1	23.1	53.8	23.1	0.0
2 採算	0.0	23.1	76.9	△ 76.9	15.4	30.8	53.8	△ 38.5	25.0	58.3	16.7	8.3
3 仕入単価	23.1	69.2	7.7	15.4	15.4	76.9	7.7	7.7	15.4	84.6	0.0	15.4
4 従業員数					0.0	84.6	15.4	△ 15.4	15.4	76.9	7.7	7.7
5 資金繰り					7.7	61.5	30.8	△ 23.1	15.4	69.2	15.4	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		15.4	23.1	61.5		-46.2		15.4	30.8		53.8	-38.5		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	69.2	0.0	0.0	69.2	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	7.7	0.0	7.7
2 大企業進出による競争激化	7.7	15.4	0.0	23.1	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	7.7	0.0	7.7	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	15.4	15.4
4 原材料高及び不足	7.7	0.0	7.7	15.4	11 需要の停滞	0.0	30.8	7.7	38.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	7.7	7.7	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	7.7	7.7	15.4	13 その他	0.0	0.0	7.7	7.7
7 人件費の増加	7.7	0.0	0.0	7.7	無回答	7.7	30.8	46.2	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ マスク、手袋の単価が値上がっているが、需要があり高くても仕入れなくてはならない。
- ・ ネット通販をはじめたいお客様が激増した。
- ・ コロナの影響によりお客の来店周期が長くなっており、一方で客単価も変化していないため売上が減っている。

## 《 飲 食 業 》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				前期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年4月～6月期)の状況				今期(令和2年4月～6月期)と比べた 来期(令和2年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	0.0	0.0	100.0	△ 100.0	0.0	0.0	100.0	△ 100.0	36.4	27.3	36.4	0.0
2 採 算	0.0	0.0	100.0	△ 100.0	0.0	0.0	100.0	△ 100.0	27.3	45.5	27.3	0.0
3 仕 入 単 価	25.0	58.3	16.7	8.3	16.7	75.0	8.3	8.3	18.2	81.8	0.0	18.2
4 従 業 員 数					0.0	72.7	27.3	△ 27.3	0.0	90.0	10.0	△ 10.0
5 資 金 繰 り					0.0	36.4	63.6	△ 63.6	30.0	50.0	20.0	10.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	8.3	91.7		-91.7		0.0	25.0		75.0	-75.0		8.3

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	91.7	0.0	0.0	91.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	8.3	8.3	25.0	41.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	16.7	0.0	16.7	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	16.7	0.0	16.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	8.3	25.0	33.3	11 需 要 の 停 滞	0.0	33.3	16.7	50.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	0.0	8.3	8.3	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	0.0	16.7	25.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 総会や会合などが中止になり注文のキャンセル。
- ・ 若者（20～30代）は戻ってきている感じはある。その年代が使うお店はにぎわっている感じがあるが、年齢層が高い方が多いお店はまだ動きは鈍いと感じている。
- ・ テイクアウトで新規のお客様が感覚で4割くらいいた。色々なサイトができて、掲載をしたので、自分から告知をしなくても宣伝が出来てよかった。大変な時期だが、前からやってみていたと思っていたこと（テラス席やテイクアウト等）がしっかりとできて、悪いことではなかった。